2011年8月30日

北海道大学学長
佐伯　浩　　様

北海道大学教職員組合
執行委員長　神沼　公三郎

北海道大学経営協議会委員・近藤龍夫氏を
即刻、解任するよう要求します

北海道電力（株）（以下、北電）は2011年8月26日の夜、記者会見を行い、2008年10月に岩内町で開催された北海道主催の泊原発3号機プルサーマル計画に関するシンポジウムで、自社の社員に対し、会場で計画推進の意見を述べるよう、いわゆる「やらせ」を指示していたと表明しました。北電はさらに8月29日の記者会見で道民や関係者に迷惑をかけたと陳謝し、「やらせ」の事実を完全に認めました。いずれにしても九州電力（株）などと同じく北電についても、許し難い反社会的行為としての「やらせ」を行っていたことが全国に知られる事態になりました。

そもそも北電は1999年にも、泊原発3号機の増設計画について北海道が行った道民意見の募集でも、自社の社員に賛成工作を指示しました。そのような「やらせ」の前歴があるにもかかわらず、北電取締役会長・近藤龍夫氏（北海道経済団体連合会会長）を北海道大学の経営協議会委員に任命した貴職の判断は、著しく公正性に欠けるものでしたが、今回の「やらせ」発覚で、もはや北電・近藤会長が北大経営協議会委員にとどまるのは、正義と真実を重んじる大学の趣旨に反すること、甚だしいといわなければなりません。

かくなるうえは、貴職が即刻、北電・近藤会長を北大経営協議会委員の立場から解任するよう要求します。果たして北電による「やらせ」が、すでにメディアによって社会的に伝えられている範囲にとどまるのかどうか、疑わしいといわれています。時間が経過していくほど、より多くの、重大な「やらせ」の事実が発覚する可能性があり、そうなってからでは北大の対応は遅きに失することになります。とにかく、いますぐ解任することが、北大の対応にわずかの正当性を残す唯一の道です。